

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス unico久留米		公表日	2025年 3月 21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		教室内の段差はありませんが、各部屋に入る入口が狭く、車椅子のサイズによっては入らない可能性があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に最低一回は運営会議を実施し、全スタッフの視点で業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に最低一回は運営会議を実施し、疑問点や支援の方向性など認識を合わせる機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者機関からの評価を受ける代わりに、本社職員を事業所に派遣して評価を行う内部監査制度を年2回実施しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回定期的な支援に関する研修を実施したり、新入社員、過去新卒に向けた研修を実施するなど、充実した教育体制を整えています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月に2回ワークショップミーティングを行い、チームで考えております。子どもたちからのリクエストにもできるだけ応えられるよう努めております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて支援内容を共有し、職員間で役割分担をしながら支援をおこなっています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝礼時に職員でMTGを行い、振り返り・気付いた点の共有を実施しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育園等への直接聞き取りは過去行っていませんが、保護者・相談支援事業所を経由または姉妹教室の児童発達支援事業所からの情報提供等は常に行っています。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—	—	令和4年5月開所のため該当する利用者おりません。今後障害福祉サービス事業所へ移行するケースがある場合には対応していきます。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○					

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談等は行っていませんが、送迎時に保護者様からいただく相談などは助言させていただきますことがあります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれの訓練研修を行っております。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	対象児童がないため現在は行っていませんが、必要な際は必ず行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

こ ど も の 安 全 確 保	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス unico久留米		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な体験や学びにつながるワークショップ活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまたちが主体的に楽しみながら参加ができるよう、やってみたいことや挑戦してみたいことの聞き取りを定期的に行い、活動に反映しています。</li> <li>・支援目標に係る5領域のいずれかに偏らないよう、様々な分野やニーズに応じた活動の検討を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多様な体験や学びにつながるよう、活動の狙いを踏まえた振り返りや企画を都度行ってまいります。</li> </ul>
2	お子さま一人ひとりが自分で考え選択していけることを大切にしたい関わりや環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の気持ちに気付き、考え、選択していけるよう、コーチングをベースにしたコミュニケーションの実践を行っています。</li> <li>・活動内容や状態に応じて過ごす場所を自分で選択できるよう、多様なスペースを設計しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での毎日の振り返りや情報共有、研修などを通して、お子さまたちに応じた選択肢の更なる充実や支援力向上に努めてまいります。</li> </ul>
3	お子さま一人ひとりが安心できる居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さま一人ひとりの違いや気持ちを尊重しながら、全員の育つ力を信じて対等に関わる姿勢を大切にしています。</li> <li>・明るく開放的で心地よく過ごす空間を意識しており、非言語的にもお子さま一人ひとりを大切にしていることが伝わるよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や振り返りを通して、日頃からお子さま一人ひとりと関わる上でのスタンスが職員全員で揃えられるよう努めてまいります。</li> <li>・より快適な空間づくりを目指して、速やかな環境修繕、清掃や整理整頓の更なる徹底に努めてまいります。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	それぞれの活動に応じた環境設定の更なる工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や状態に応じて過ごす場所を選択できるよう、多様なスペースを設計しておりますが、よりそれぞれの活動が充実したりニーズに沿った環境を提供できるような工夫が必要だと考えております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に集中したり楽しんだりするための方法や環境面での工夫を積極的に示し、お子さまが自分で選択していけるように努めてまいります。</li> <li>・必要に応じて、事業所外の活動場所も視野に入れながら、例えば運動・音楽などの活動もより充実した内容となるよう工夫してまいります。</li> </ul>
2	日々の支援に対する安心感や療育効果を感じていただけるような保護者さまとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の気持ちに気付き、考え、選択していけるよう、コーチングをベースにしたコミュニケーションの実践や機会提供を日々行っておりますが、その効果やお子さま一人ひとりの成長をより感じていただけるよう、日頃からの細やかなコミュニケーションや報告内容の質向上が必要だと考えております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者さまに安心していただけるよう、より一層細やかな情報共有や日頃のコミュニケーションに努めてまいります。</li> <li>・日々の出来事に加え、どのような支援を行ったのか、どのような成長が見られているのかを具体的にお伝えできるよう、日々の振り返りで職員間の連携強化を図ってまいります。</li> </ul>
3	保護者の皆さまが関係機関や周囲とのつながりをより感じていただけるような支援の更なる工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのご家庭と、適宜面談やお電話等での相談支援を行っておりますが、関係機関や保護者さま同士等、周囲とのつながりを実感できるような連携、機会提供の検討が必要だと考えております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者さまと相談をしながら、必要に応じて関係機関も含む会議への参加や提案を行ってまいります。</li> <li>・保護者さま同士がつながりを感じられるような機会提供についても検討を行ってまいります。</li> </ul>